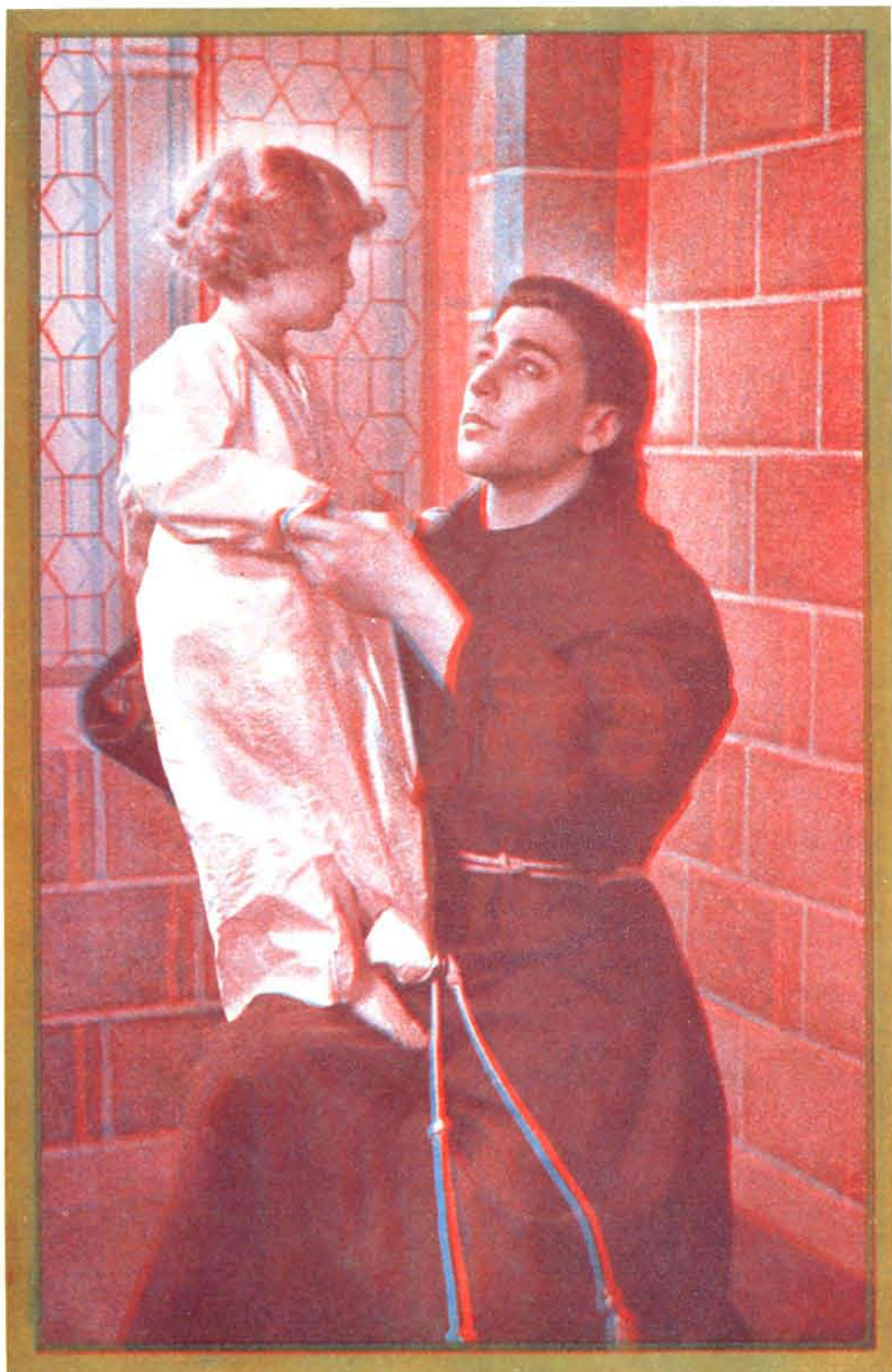




「聖アントニウス」アナグリフ式3Dポストカード

3D-BEYOND THE STEREOGRAPHY

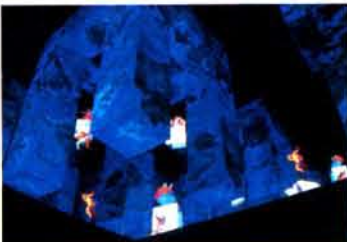
Images and Technology Gallery Exhibition Theme III
Wednesday, April 3, 1996 ⇨ Monday, September 23, 1996

映像工夫館展テーマIII

3D-ステレオを超えて

1996年4月3日(水) ⇨ 1996年9月23日(月)

クリスタ・ソムラー&ロラン・ミニョーノ/ルディ・バーコウト/猪又健志/小田英之/河口洋一郎/細馬宏通
ステレオビュー、ステレオスコープ、ステレオカード、ピープ・ショー、錯視の部屋、スードゥー・ステレオ、レンチキュラー、
ホログラフィ、パノラマ館/スパダ宮のジオラマ、3Dに関する資料 他、当館収蔵品



Christa SOMMERER & Laurent MIGNONNEAU / Rudie BERKHOUT
Takeshi INOMATA / Hideyuki ODA / Yoichiro KAWAGUCHI / Hiromichi HOSOMA

猪又健志
Next Gate II 1995



クリスタ・ソムラー&ロラン・ミニョーノ
Trans Plant 1995

同時開催 作品展[3D LAB. part① ステレオ観光] 1996年4月3日(水) ⇨ 5月26日(日)

part② 5月30日(木) ⇨ 7月28日(日) / part③ 8月1日(木) ⇨ 9月23日(月)

With the Experimental Exhibition '3D LAB. part① Stereo-Sightseeing' April 3, 1996 ⇨ May 26, 1996
3D LAB. part② May 30, 1996 ⇨ July 28, 1996 / part③ August 1, 1996 ⇨ September 23, 1996

●ギャラリー・オリエンテリング——サマー・ヴァージョン 1996年8月25日(日) 往復乗車にて申し込み/10:30~12:00 親子コース/3:00~5:00 一般コース 各20名(無料) ●開館時間=午前10時⇨午後6時(木・金は午後8時まで) 入館は閉館の30分前まで ●
休館日=毎週月曜日(月曜が祝祭日の場合は翌日) ●観覧料=一般・大学生 500円(400円)/小・中・高校生 250円(200円)※〔 〕内は
20名以上の団体料金/3F展示室の観覧料を含む。*65歳以上の方及び心身障害者で、その証明書をお持ちの方は無料となります。



東京都写真美術館

〒153 東京都目黒区三田1-13-3 Tel. 03-3280-0031
1-13-3 Mita, Maguro-ku, Tokyo 153

会場=地下1階映像展示室

主催=東京都写真美術館
展覧会のお問い合わせは、ハローダイヤル03-3272-8600へ

3D-BEYOND THE STEREOGRAPHY

Images and Technology Gallery Exhibition Theme III
Wednesday, April 3, 1996 ⇨ Monday, September 23, 1996

映像工夫館展テーマIII

3D-ステレオを超えて

1996年4月3日(水) ⇨ 1996年9月23日(月)

(出品作家) ルディ・バーコウト/クリスタ・ソムラー&ロラン・ミニョーノ/猪又健志/小田英之/河口洋一郎/細馬宏通

(出品内容) (映像工夫館コレクションより) ステレオビュー/ステレオスコープ/ステレオカード/ピープ・ショー/錯視の部屋/スードゥー・ステレオ/レンチキュラー/ホログラフィ/パノラマ館・スパダ宮のジオラマ/3Dに関する資料 他

映像工夫館では、イメージの視覚化の歴史・広がりをもたらしたテーマI「イメージの表現」や、イメージに動きを与える試みを紹介したテーマII「アニメーション」に続いて、今回は視覚の奥行きや広がりについて考察するテーマIII「3D-ステレオを超えて」を開催します。数年前、世界的に3D(スリーディー/奥行きを持つ映像全般を指す)が流行し、ひとつの世界的なブームとなった時期がありました。日本でも特にコンピュータによるR.D.S.(ランダムドット・ステレオグラム)が飛躍的な隆盛を見せ、多様な出版物やTV番組が3Dを取り上げました。国内外のアーティストたちが3Dを織り込んだ作品を発表したり、3D団体のイベントや美術館が次々と開催されたのも記憶に新しい現象です。また、過去に繰り返されたブームに比べると、道具を使わない裸眼立体視が人気を博し、一般に普及させようという動きが現れたことが特徴的でした。こうして3Dや「ステレオ」という言葉/概念は少しずつ市民権を得てきましたが、ステレオ写真やランダムドットだけが3Dではありません。視覚/知覚の奥行きに対する探究はもっと古くから行われ、実に多様な広がりを持っています。本展は、歴史的な収蔵品やレプリカを通して、奥行き知覚についての多様なあらわれを体験しようとする試みです。

同時開催 作品展[3D LAB. part① ステレオ観光] 1996年4月3日(水) ⇨ 5月26日(日)

part② 5月30日(木) ⇨ 7月28日(日) / part③ 8月1日(木) ⇨ 9月23日(月)

With the Experimental Exhibition '3D LAB. part① Stereo-Sightseeing' April 3, 1996 ⇨ May 26, 1996
3D LAB. part② May 30, 1996 ⇨ July 28, 1996 / part③ August 1, 1996 ⇨ September 23, 1996

また、このテーマ展の会期に合わせて「3D LAB. part①〜③」という作品展のシリーズを開催します。3Dラボ=3D実験室という意味ですが、ここでは6か月の会期を3期に分けて展開します。テーマ展で3Dの歴史や広がりを知るとともに、ステレオ写真を通してスペクタクルを体験したり、レンチキュラーやホログラフィといった3D技術について考察し、現代作家たちによる実験的な表現を紹介します。シリーズ第1回は、世界最初の万国博覧会や名所旧跡/戦争などを写しとめた、ステレオ写真による異世界旅行を特集します。美しい彩色ダゲレタイプで記録された「クリスタル・パレス(水晶宮)」や、主に平行法によるステレオカード類を鑑賞しながら、ブームの原点に思いをはせてみましょう。

(出品内容) クリスタル・パレスのステレオ写真/万国博覧会写真/日露戦争のステレオ写真/他 当館収蔵品

会期中、フロアレクチャーやホールでの上映、ワークショップやギャラリー・オリエンテリングを予定しています。内容については東京都写真美術館ニュースをご覧ください。また、詳細についてはお問い合わせ下さい。



東京都写真美術館

〒153 東京都目黒区三田1-13-3 Tel. 03-3280-0031
1-13-3 Mita, Maguro-ku, Tokyo 153

会場=地下1階映像展示室

主催=東京都写真美術館
展覧会のお問い合わせは、ハローダイヤル03-3272-8600へ



(上から)
ホームズ式ステレオビュー 1900年頃
ピープ・ショーのカード 1740年頃
中ザワビデキ レンチキュラー・カード(参考図版) 1993年



交通機関=JR恵比寿駅より徒歩7分(恵比寿ガーデンプレイス内)
お車での来館はご遠慮ください。